

企業版SDGs調査2020

約1万人による企業のSDGsへの取り組みやESG活動の評価

投資家や消費者等の ステークホルダーによる評価

SDGs取組 TOP100を公表

世界中で企業によるSDGsへの取り組みが進み、各社もその取り組みを発信したり、具体的なESG活動として展開するようになってきています。その一方で、こうした活動が一般消費者やビジネスマン、投資家にどのくらい認知・理解され、評価されているのかは不明です。

この調査では、国内の主力企業のSDGsへの取り組みや、ESG活動に対し、一般消費者やビジネスマン、投資家、SDGsに興味を持っている層などのステークホルダーによる評価を行い、それを数値化します。

SDGsへの取組の評価が高かった上位企業は「SDGs評価TOP100」としてメディア等を通じて広く公表します。210社すべての調査結果を「総合報告書」にまとめ、各社の結果を市テークホルダーや属性別クロス集計した「個別レポート」とのセットで販売します。ぜひ貴社のSDGsやESGにつながる取組の効果検証等にご活用ください。

調査は1万500人の回答(各社には500人ずつが評価)から信頼性の低いものを除くなど、調査精度を高めた上で集計・分析を行いました。ぜひ貴社のSDGsやESG活動の効果検証等にご活用ください。

※ 調査対象となっていない企業についても追加調査を行い、同様の評価を行うとともに、競合社との比較を行うことが可能です(料金は同額)。

SDGs取組
への評価

ESG活動
の認知・理解

ブランド・投資
などへの効果

結果速報！ SDGs取組の評価ランキング

順位	企業ブランド名	点数
1	トヨタ自動車	18.6
2	アサヒビール	16.2
3	旭化成	15.9
4	サントリー	15.7
5	パナソニック	15.3
6	イオン	15.3
7	アップル	15.2
8	エネオス	14.8
9	ユニクロ	14.7
10	サッポロビール	14.1
10	カルピス	14.1
12	麒麟ビール	14.0
13	キャノン	13.8
14	住友林業	13.8
15	ヤクルト	13.6
16	花王	13.6
17	味の素	13.6
18	キッコーマン	13.6
19	TOTO	13.5
20	伊藤園	13.5

※21位以下および結果概要についてはホームページ等をご覧ください。
※点数が同じでも小数点2位以下の差で順位が異なる場合があります。

調査の構図

企業のSDGs の取り組み

貧困	技術
食糧・農業	不平等
健康・福祉	都市
教育	消費
ジェンダー	気候
水・衛生	海洋
エネルギー	陸上
経済・雇用	平和
パートナー	

企業のESG活動(20項目)

環境に配慮している	商品やサービスが信頼できる
地域に貢献している	健康や福祉に貢献している
社会貢献活動をしている	国際化が進んでいる
雇用を生み出している	働き方改革に取り組んでいる
経済への貢献度が大きい	スポーツや文化活動に熱心
若い世代が活躍している	生活を豊かにしている
女性が働きやすい	世界平和に貢献している
高齢者や障がい者にやさしい	宇宙開発を推進している
教育に貢献している	法律やルールを順守している
技術・科学の発展に貢献している	公平な取引を行っている

企業評価

好感度

企業評価

商品

サービス

投資

ステークホルダー

ビジネスマン

SDGs認知者

投資家

専業主婦

若年層

①SDGsの取り組みを数値化

一般消費者のSDGsへの理解はまだ十分とは言えません。そこで、この調査では「企業がSDGsに取り組んでいるか」という視点で、総合的な評価として調査を行い、数値化します。

②企業の具体的なESG活動を評価

調査対象企業の各社が取り組んでいるESG活動を、環境、CSR、女性、働き方、文化活動など20の視点から回答者が評価します。さらにそれらをもとに、総合評価として「ESG活動指数」を算出します。また、様々なESG活動ごとのSDGsの取り組みへの影響度を測定します。

③SDGs取組やESG活動の、企業評価やブランドへの貢献

各社のSDGsの取り組みやESG活動が、企業好感度や投資意欲などにどのように貢献しているかを分析します。また、業界別および調査全企業の中で、各社がどのような位置づけにあるかを分析します。

④投資家、ビジネスマン、SDGs認知者などステークホルダー別の分析

各社の調査結果(基本指標およびESGの活動への評価などを、投資経験者、ビジネスマン、SDGs認知者、専業主婦、若年層などのステークホルダー別に集計。各社の取り組みがどのようなターゲットに届いているか分析できるようにします。

⑤業界や競合他社との比較可能

お申込み企業の結果をグラフと表でまとめたものと、属性別のクロス集計の結果を「個別報告書」としてまとめ、印刷物と電子データでご提供します。また、あらかじめ指定した競合企業(2社)の結果とともにご提供します。

調査対象一覧 (計210社 2020年3月15日現在)

※追加・変更となる場合があります

IHI	オンワード	JTB	高島屋	日本コカ・コーラ	三井物産
アイシン精機	花王	JFE	武田薬品工業	日本製紙	三越伊勢丹
旭化成	カゴメ	四国電力	竹中工務店	日本製鉄	三菱地所
アサヒビール	カシオ計算機	島津製作所	田辺三菱製薬	日本生命	三菱自動車工業
味の素	鹿島建設	しまむら	中部電力	日本特殊陶業	三菱重工
味の素AGF	カルビー	清水建設	DeNA	日本マイクロソフト	三菱商事
アップル	カルピス	シャープ	TDK	日本マクドナルド	三菱マテリアル
アマゾン	関西電力	昭和シェル石油	帝人	日本ユニシス	三菱UFJ銀行
アルプス電気	かんぽ生命保険	スズキ	電源開発	ネスレ日本	三菱レイヨン
アンリツ	キッコーマン	スターバックス	東京エレクトロン	野村証券	無印良品
イオン	キャノン	SUBARU	東京海上	パイオニア	村田製作所
伊藤園	九州電力	住友金属工業	東京ガス	ハウス食品	明治
伊藤忠商事	キュービー	住友ゴム工業	東京急行電鉄	パナソニック	明治安田生命
イトーヨーカドー	京セラ	住友商事	東京電力	パナソニックホームズ	モスバーガー
INAX	キンピール	住友生命	東芝	阪急阪神	森永製菓
岩谷産業	近鉄	住友電気工業	TOTO	バンダイナムコ	森ビル
ANA	クボタ	住友林業	東武鉄道	日立金属	ヤクルト
エーザイ	京王電鉄	セイコー	東北電力	日立製作所	ヤフー
AGC	京成電鉄	西武鉄道	東洋製罐	ファミリーマート	ヤマト運輸
SMBC日興証券	京浜急行電鉄	積水化学工業	東レ	不二製油	ヤマハ
NEC	KDDI	積水ハウス	凸版印刷	富士ゼロックス	ヤマハ発動機
NTT	神戸製鋼所	セブン・イレブン	トール	富士通	UCC上島珈琲
NTTドコモ	コジマ	ソニー	豊田自動織機	富士電機	ユニクロ
NTTデータ	コスモ石油	ソニー生命	トヨタ自動車	富士フイルム	ユニ・チャーム
エネオス	コニカミノルタ	ソニー損保	トヨタ紡織	ブリヂストン	洋服の青山
荏原製作所	コマツ	ソフトバンク	トヨタホーム	ベネッセ	横河電機
EPSON	佐川急便	第一三共	西日本鉄道	北陸電力	横浜ゴム
王子ホールディングス	サッポロビール	第一生命	日産自動車	本田技研工業	リクルート
大阪ガス	サントリー	大王製紙	日清オイリオ	マツダ	リコー
大林組	JR九州	ダイキン工業	日清食品	丸紅	りそな銀行
小田急電鉄	JR四国	大成建設	日本ハム	ミサワホーム	ロイヤルホスト
オムロン	JR東海	大日本印刷	日本アイ・ビー・エム	ミズノ	ローソン
オリエンタルランド	JR西日本	ダイハツ工業	日本紙パルプ商事	みずほ銀行	ローマ
オリックス	JR東日本	大和証券	日本軽金属	三井住友海上	YKK
オリパス	JR北海道	大和ハウス工業	日本航空	三井住友銀行	ワコール

※法人格は割愛。原則として正式名称ではなく、消費者に定着しているブランド名、略称等を優先しています。また、ホールディングスではなく、事業会社を対象としています。表記名の変更・修正をご希望の場合はご連絡ください。

報告書の構成内容

内容は一部変更になる場合があります

総合報告書

調査対象となった企業(210社)の結果(全指標)を冊子にまとめたもの。調査項目ごとの分析や、ステークホルダー別の結果、属性別での特徴などを分析した結果も記載します。

体裁: A4判、無線綴じ製本、250ページ程度

- 内容:
- 第1部 企業版SDGs調査とは(目的、設問、結果概要等)
 - 第2部 企業評価指標(認知度、好感度、利用経験、投資意欲、就職意欲)
 - 第3部 情報関連指標(情報接触度、SDGs関連情報の接触度)
 - 第4部 SDGs評価指数、ESG活動認知(20項目)
 - 第5部 ステークホルダー別分析(ビジネスマン、投資家、SDGs認知者、専業主婦、若年層)
 - 第6部 調査票、索引
- ※ 内容は一部変更になることがあります

総合報告書のページ例 ※実際と異なる場合があります

第2部 企業評価指標

業界	企業名 (ブランド名等)	サンプル数	認知			好感			好感度
			よく知っている	少し知っている	名前も知らない	とても好	少し好	どちらでもない	
業界	企業名	サンプル数							

第4部 SDGs評価、ESG活動指標

業界	企業名 (ブランド名等)	サンプル数	SDGs取組					企業のESG活動												
			本格的に取り組んでいる	取り組んでいる	取り組み始めている	取り組んでいない	SDGsに詳しくない	環境に詳しくない	社会に詳しくない	地域に詳しくない	女性に詳しくない									
業界	企業名	サンプル数																		

個別レポートのページ例 ※実際と異なる場合があります

SDGs取組評価 15歳/200世帯

項目	A社
本格的に取り組んでいる	15.2%
取り組んでいる	22.6%

知らない、わからない 24.7%
本格的に取り組んでいる 15.4%
取り組んでいる 22.8%

ESG活動の認知

ESG活動	A社	平均
環境に詳しくいる	15.2%	15.2%

属性別分析

属性	サンプル数	認知				
		本格的に取り組んでいる	取り組んでいる	取り組み始めている	取り組んでいない	SDGs評価
A株式会社						
年代						
20代	0	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8
30代	0	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8
40代	0	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8
50代	0	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8
60代以上	0	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8
性別 男性	0	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8

個別レポート ※ 内容は一部変更になる場合があります

お申込みいただいた企業の結果を、グラフ等を使って分かりやすくまとめたレポートです。

回答者の属性(年代、男女、婚姻、子どもの有無、住居、勤務、SDGs認知など)によるクロス集計の結果なども記載します。

体裁: A4判、15ページ程度(一部のページはA3判での印刷となります)

対象: 貴社+競合2社(3社目以上は1社あたり5万円の追加となります)

- 内容:
- 各社の結果(企業評価指標、情報関連指標、SDGs評価、ESG活動の結果)
 - ステークホルダー別結果
 - 属性別クロス(年齢、性別、居住地域、職業、世帯年収、住居など)
 - 自由意見(各社のSDGsやESG活動など企業活動等について)

調査概要・調査項目

- 調査名: 企業版SDGs調査2020
- 調査方法: インターネット調査
- 調査対象者: 全国の調査モニターより、年代(20代、30代、40代、50代、60代以上)と性別が均等になるように抽出・回収
- 回収数: 総回収数は10,500人(各企業の有効回答数は500人)。有効回答数9,561人
- 調査時期: 2020年3月
- 設問:
 - 企業評価指標: 認知度、好感度、利用経験、投資意欲、就職意欲
 - 情報関連指標: 活動情報(商品、株式、環境、スポーツ等12項目)、経路(TV、新聞、Web、SNS、報告書等14項目)
 - SDGs評価指標: 各社のSDGsへの取り組みの評価(5段階)
 - ESG活動評価: 環境、地域、CSR、雇用、女性、教育、法順守など20項目(本パンフの1ページ目参照)
 - 回答者属性: 居住地、年代、性別、婚姻、子供の有無、職業、世帯年収、住居、投資経験、SDGs認知度
 - 自由意見: 各社のSDGsへの取り組みやESG活動など企業活動に関する自由意見

評価項目数: 計53項目+属性

調査の詳細は、Webページ(<https://news.tiiki.jp/sdgs>)をご覧ください。



各社のSDGsへの取り組みや、ESG活動を数値化。
効果測定や、取り組みの計画策定などにご活用ください

企業版SDGs調査2020の商品構成

基本セット
総合報告書+個別レポート+電子データ
セット価格 **350,000円** (税別)

調査対象とした企業全社(210社)の結果をまとめた「総合報告書」と、貴社の結果をわかりやすくまとめ、属性クロスなどで分析しやすとした「個別レポート」のセットです。
結果を分析・活用できるように、電子データ(総合報告書のPDFデータ+御社の属性クロス等、自由意見のExcelデータ)でもご提供します。(個別レポートには貴社の他に競合2社をお選びいただけます)

※3社以上の結果が必要な場合は、追加料金(5万円/社・税別)でお申込みいただけます。



非調査対象企業で新たに追加調査を行う場合も、同料金でお申込みいただけます。

その他のSDGs関連調査

「地域版SDGs調査」都道府県版
総合報告書 (2019年9月発行)
68,000円 (税別)

47都道府県を対象に、居住者の満足度・定住意欲度などの基本指標と、個人の悩み・社会的課題などの計106項目についての調査。全国平均と、都道府県・属性別の結果を比較できます。
※都道府県版には個別レポートはありません



- 調査方法: インターネット調査
- 調査時期: 2019年7月12日~29日
- 調査対象: 47都道府県
- 回答数: 約15,925人
(各都道府県の平均339人)
- 形態: A4判冊子230頁
- 発行日: 2019年9月17日
- 目次: 第1部 地域版SDGs調査とは
第2部 基本指標
第3部 住民の不満や悩み
第4部 社会が取り組むべき課題
第5部 参考資料(調査票)



報告会・セミナー **200,000円** (税別)
(オプション) ※交通・宿泊費および調査費用は含みません

調査結果をもとに、御社の担当者や関係者を対象とした報告会を、セミナー形式または研修方式にて実施します。

(実施例) 実施時間: 60~120分(質疑応答含む)、実施場所: ご指定の会議室等、対象者数: 特に指定なし、講師: 弊社代表またはコンサルタント、納品物: PPT資料(電子データにて納品)

※課題抽出などを含む場合は、下記の分析レポートもあわせてお申し込みください

分析レポート、課題抽出 **300,000円~** (税別)
(オプション) ※各調査費用は含みません

今回の調査の結果を踏まえ、御社のSDGsのイメージや、ESG活動への理解を高めるための課題や、ターゲットングなどについての分析レポートを作成します。

また、特別な視点を加えた個別調査を追加で実施することで、具体的な視点(取組、商品、店舗など)によるの分析を加えることも可能となります。詳しくは担当者までご連絡ください。

(実施例) 分析期間: 1~2か月、納品物: 調査報告書

市版SDGs調査 **150,000円** (税別)
総合報告書+個別報告書+データCD

政令例指定市、中核市、県庁所在市の計83市の市民による調査で、「地域版SDGs調査と同様の内容で実施しました。

- 調査方法: インターネット調査
- 調査時期: 2019年11月19日~12月23日
- 調査対象: 83市
- 回答数: 約13,270人
- 総合報告書74頁+個別報告書13頁
- 発行日: 2020年1月31日

